

相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール

兵庫県相生市



文化と絆を築く まちづくりのステージ

旧相生港の造成地に建設された相生市の文化会館です。造船産業が活況時に船員会館として建設された旧文化会館が築後 60 年を経過し、構造的安全性の確保、ホール機能全般の更新に伴い改築されることとなりました。

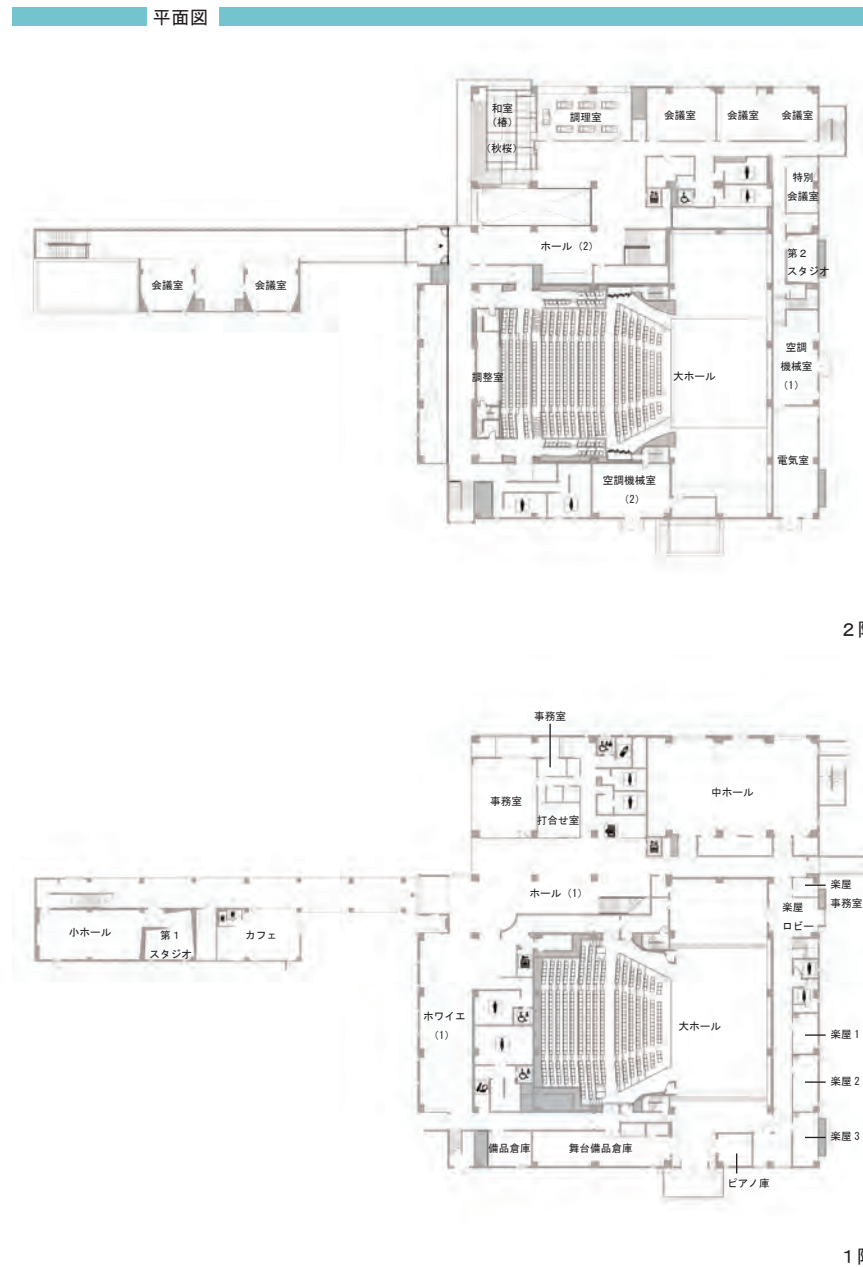
メインホールは約 600 人収容、各種イベント利用がしやすい中規模ホールとし、一体感、臨場感あふれる客席形態としています。併設された市民会館には、さらに小グループ、多様な市民活動にも対応できる小中ホール、各種会議室を設けています。またロビー、ホワイエは、イベント時には展示スペースやミニコンサートにも利用できるよう計画しています。

海にうかぶ客船、棧橋をイメージした施設が人々の「出会い」と「文化活動のうねり」に寄与すること期待しています。

- 用途：劇場・文化会館
- 構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
- 規模：地上3階建
- 敷地面積：10,619.46㎡
- 建築面積：5,260.25㎡
- 延床面積：5,603.17㎡
- 竣工予定：2016年4月



デッキ棟よりホール棟を望む

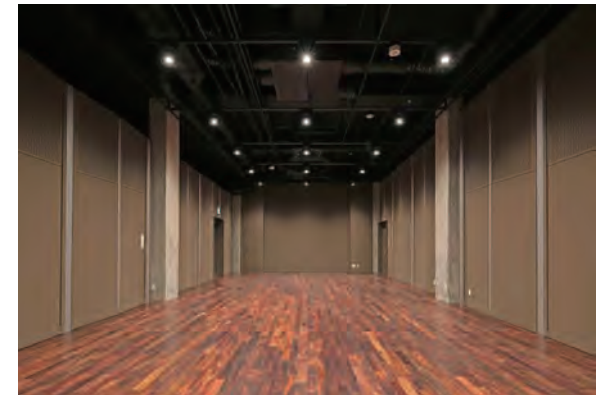


2階

1階



中ホール



デッキ棟 小ホール



エントランスホール



ホワイエ



大ホール / 600席